

首都大学東京 理学研究科 物理学専攻

2019年度 大学院履修ガイダンス

2019年4月3日(水)
11号棟102室

昨年度教務委員・角野秀一

※このスライドは物理教室のHPでもご覧になれます：
「在学生へ」→「大学院教務」→「大学院履修ガイダンス資料」

目次

- 教員からの連絡方法
- 履修に関する説明
- ティーチングアシスタント(TA)制度
- 研究支援制度
- 奨学金返還免除制度について
- 学生のための相談室
- アナウンス

教員からの連絡方法

1. 掲示:

物理事務室(8号館222号室)前掲示板

補助的に

理学研究科 掲示板(8号館と9号館をつなぐ渡り廊下 1階)

2. ホームページ:

物理教室ホームページ (<http://www.phys.se.tmu.ac.jp>)から、
「在校生へ」→「大学院教務」

3. メール:

教員→学生:

各学生に大学から提供されるメールアドレス(xxx@ed.tmu.ac.jp)宛に送付

転送設定(後述)を忘れずに!

学生→教員:

教員のメールアドレスは、全て苗字に@phys.se.tmu.ac.jpをつけたもの

(family_name@phys.se.tmu.ac.jp)

メール設定方法

情報処理施設のホームページ: <http://www.comp.tmu.ac.jp/tmuner/>

The screenshot shows the TMUNER website interface. At the top, there is a navigation bar with the TMUNER logo and various menu items like 'システム利用方法', '教室・授業', '各種申請', 'よくある質問', '問い合わせ先', and '情報セキュリティ'. Below this is a search bar and a main banner for '首都大学東京 教育研究用情報システムの総合案内サイト'. A dropdown menu is open, showing options like 'ホーム/ログインメニュー', '利用者メニュー ログイン', '学生ポータル ログイン', 'kibaco', 'Webメール (教員)', and 'Webメール (学生)'. The 'Webメール (学生)' option is circled in red. A yellow callout box points to this option with the text 'メールの転送設定など'. Below the navigation bar, there are three boxes: 'kibaco', 'はじめての方へ', and '大学教育センターから情報倫理に関するお知らせ'. The main content area is titled '重要なお知らせ' and contains a list of notices with dates and titles. At the bottom, there are two boxes: 'お知らせ・障害情報' and 'セキュリティ情報', each with a list of links for different campus locations.

TMUNER

ホーム/ログインメニュー

- 利用者メニュー ログイン
- 学生ポータル ログイン
- kibaco
- Webメール (教員)
- Webメール (学生)

メールの転送設定
など

重要なお知らせ

- 更新 2018年3月28日 年度更新対応に伴う利用者メニュー停止及び新規ユーザーID作成不可について
- 更新 2018年3月6日 キャンパス・ネットワーク接続機器のMACアドレス棚卸について
- 2018年2月6日 2018年度前期のパソコン教室更新について
- 2018年1月17日 【注意喚起】他大学やActive!mailをかたったフィッシング詐欺メールにご注意ください!
- 2017年3月30日 非公開ネットワークへの移行のお願いについて
- 2017年3月7日 非公開ネットワーク及び検疫システムに関する学内説明会の配付資料について
- 2016年7月6日 メールボックス容量超過に関するメール通知について

お知らせ・障害情報

全校舎 南大沢 日野 荒川

2018年3月28日 更新

年度更新対応に伴う利用者メニュー停止及び新

セキュリティ情報

全校舎 南大沢 日野 荒川

2018年3月26日 更新

【注意喚起】他大学やActive!mailをかたった

メール転送設定方法

The screenshot shows the Outlook web interface for a user named 吉川広陽. The browser address bar shows the URL: <https://outlook.office365.com/owa/?realm=ed.tmu.ac.jp&path=/options/forwarding>. The page title is "オプション" (Options).

The "メール" (Mail) section is expanded, and the "転送" (Forwarding) option is selected. The "転送" settings are displayed as follows:

- 転送を開始する (Start forwarding)
- メールの転送先:
- 転送されたメッセージのコピーを保持する (Keep a copy of forwarded messages)
- 転送を停止する (Stop forwarding)

Numbered callouts indicate the following steps:

- ①: Click the gear icon (Settings) in the top right corner.
- ②: Click "設定" (Settings) in the right-hand pane.
- ③: Click "転送" (Forwarding) in the left-hand navigation pane.
- ④: Click "転送" (Forwarding) in the main content area.

The right-hand pane shows the "設定" (Settings) menu with options like "すべての設定を検索" (Search all settings), "テーマ" (Theme), "スタートページ" (Start page), "通知" (Notifications), "パスワード" (Password), "言語とタイムゾーン" (Language and time zone), and "アプリの設定" (App settings).

履修に関する説明(1/4)

修了(学位取得)条件

修士学位:2年(最大で4年) 30単位 + 修士論文

博士学位:3年(最大で6年) 20単位 + 博士論文

補足:1)詳細は「大学院履修案内・授業概要」を参照

2)学位論文:論文提出および最終試験(=論文の発表と審査)

3)修士学位論文(英語または日本語)

博士学位論文(英語)

4)主要な研究成果が学術雑誌に掲載または掲載確実であること(博士)

5)必修科目が16単位、残り(下記)を通常授業や集中講義で取る

修士:14単位 博士:4単位

修士論文

2年間における研究の集大成。そして、次へのステップ。

博士前期課程における教育研究上の目的

1. 物理学に関する研究を進めるために必要な基礎的な知識の他、論理的な思考法、実践的な研究方法を修得する。
2. 物理学の各分野において、自らあるいは指導教員の指導の下に研究課題を設定し、問題を解決して研究を遂行する能力、論理的に論文を構成して研究成果を発表する能力を修得する。
3. 他の研究者と討論できる能力、研究の成果を広く伝える能力を修得する。

修士論文発表会(2年生時1月下旬)

口頭発表17分 + 質疑応答 8分

履修に関する説明(2/4)

必修科目

修士課程：物理学特別セミナー、
物理学特別演習(理論系)、物理学特別実験(実験系)

博士課程：物理学特別演習(理論系)、物理学特別実験(実験系)

補足：

- 1) 修士論文、博士論文のための研究・セミナーに対する単位
(講義はないが、大学に出てきて指導教員のもとで研究を行うことが必要)
- 2) 標準履修課程に基づき必ず前期と後期に履修する(履修申請を忘れずに)
- 3) 休学・留学等で標準履修課程から外れる場合は、指導教員・教務委員と相談する

標準履修課程

修士1年(理論系)：

物理学特別セミナー I(前期)、II(後期)

物理学特別演習 I(前期)、II(後期)

修士1年(実験系)：

物理学特別セミナー I(前期)、II(後期)

物理学特別実験 I(前期)、II(後期)

博士1年(理論系)：

物理学特別演習 V(前期)、VI(後期)

博士1年(実験系)：

物理学特別実験 V(前期)、VI(後期)

履修に関する説明(3/4)

講義科目

基礎から研究の最前線まで、充実した講義内容

修士：14単位以上
博士：4単位以上

2単位科目(分野共通の基礎科目、15コマ=[14+1]、博士課程は履修不可)

素粒子物理学、一般相対論、場の理論、原子核物理学、統計物理学、流体力学、
計算物理学、原子物理学、宇宙物理学、物性物理学 I,II、粒子線物性

1単位科目(専門分野の科目、8コマ=[7+1]、一部集中講義*)

素粒子物理学特論*、高エネルギー理論物理学特論、原子核・ハドロン物理学特論、
高エネルギー宇宙物理学特論 I,II、非線形物理学特論、統計力学特論、
量子多体系特論*、超伝導物理学特論、磁性物理学特論*、
高エネルギー物理学特論 I*,II、原子物理学特論 I,II、宇宙物理学特論 I,II、
電子物性特論 I,II、ナノ物性・表界面物性特論 I,II、ソフトマター物性特論 I,II、
粒子ビーム物性特論 I、物質科学ミニマム、物理実験学特論 A,B,C,D、科学英語特論

集中講義(一単位 8コマ、物理学特別講義・物理化学特別講義)

学外から講師を招き、国内の最先端研究動向を基本事項から解説
8コマを3日間程度で集中的に講義。毎年10講義程度を提供。

2019年度集中講義(開講予定)

講師: 柴山允瑠氏(京都大学・情報学研究科)

題目: 「可積分ハミルトン力学系とその摂動」

日程: 5/13, 5/14, 5/15

講師: 松林和幸氏(電気通信大学・情報理工学研究科)

題目: 「高圧力によって誘起される新奇な物性と超伝導」

日程: 7/2, 7/9, 7/16, 7/23

※超伝導理工学特別講義と同時開講

講師: Roger Wendell氏(京都大学・理学研究科)

題目: 「Physics at SuperKamiokande (仮題, 英語講義)」

日程: 未定(前期)

講師: 池田昌司氏(東京大学・総合文化研究科)

題目: 「ジャミングとガラス転移(仮題)」

日程: 未定(後期)

その他、計10講義程度を予定

- ・ 講義は今後適宜追加の予定
- ・ 開講日時は掲示板・HPに提示
(メールでも周知)
- ・ 履修は授業開始7日前までに「履修申請書」を理学教務窓口に提出

集中講義の案内

http://www.phys.se.tmu.ac.jp/

「在学生へ」→「大学院集中講義開講予定一覧」

Department of
PHYSICS
物理学科
物理学専攻

ホーム

研究

教育

入試

教員・研究室

アクセス

所在地
東京都八王子市南大沢1-1

電話番号
042-677-1111 (代表)

首都大学東京理学部物理学科/ 大学院理学研究科物理学専攻

首都大学東京理工学系物理学コース/ 大学院理工学研究科物理学専攻

▶ 在学生へ

2017年度大学院集中講義開講一覧

問い合わせ先のメールアドレスは、@の後ろに phys.se.tmu.ac.jp を付け加えたものです。

物理学特別講義 I (1単位)

講師	小銅 哲 氏 (東京理科大学 講師)
題目	低次元ナノ物質の光物性
日時	※日程が変更になりました。 12月12日 (火) 2, 3限 (8号館307室) 12月19日 (火) 2, 3限 (8号館307室) 12月26日 (火) 2, 3, 4, 5限 (8号館307室) (26日の5限は、セミナー形式になります。)
授業番号	大学院博士前期課程: R225、 大学院博士後期課程: R226
担当	柳(yanagi@)

物理化学特別講義 I (1単位)

講師	野島 勉 氏 (東北大学金属材料研究所 准教授)
題目	薄膜・界面における2次元超伝導
日時	※場所が変更になりました。 12月5日 (火) 3限 (11号館202室), 4限 (11号館201室) 12月6日 (水) 2, 3限 (11号館302室), 4, 5限 (11号館102室) 12月7日 (木) 2, 3限 (11号館202室) (6日の5限は、セミナー形式になります。)
授業番号	大学院博士前期課程: R319、 大学院博士後期課程: R320
担当	青木(aoki@)

磁性物理学特論 (1単位)

講師	上田 和夫 (首都大学東京理工学研究科・客員教授)
題目	磁性物理学特論
日時	11月10日 (金) 4, 5限 (8号館301室)

履修に関する説明(4/4)

- 講義科目は学期はじめに履修申請(Web利用)必ず登録状況を確認。
- 講義科目のほとんどは2限、3限(研究との両立を可能に)。
- 修士の場合、講義科目14単位の大半を1年次にとり、2年次は研究に専念することを推奨。
- 「〇〇特論」(8コマ、1単位)の科目は前期a、前期b、後期a、後期bの4つの開講時期がある(大学院時間割の日程を参照)
- 修士課程では、他専攻や他研究科の授業は10単位まで認められる。ただし、理学教務委員会の承認が必要であるため、あらかじめ指導教員や教務委員と相談。
- 「物理化学特別講義」は物理学専攻と分子物質化学専攻の共通科目。
→ 物理学専攻の学生も履修可能
- 学部で修得した科目の修士での再履修や、修士で修得した科目の博士での再履修:
講義内容が異なる場合 → 可
同一の場合 → 不可
講義内容が異なるかどうかについては、担当教員に問い合わせてください

2019年度大学院授業時間割

首都大学東京 理学研究科 物理学専攻

() 内は授業番号

	①8:50~10:20			②10:30~12:00			③13:00~14:30			④14:40~16:10			⑤16:20~17:50			日程	
	授業科目	担当	教室	授業科目	担当	教室	授業科目	担当	教室	授業科目	担当	教室	授業科目	担当	教室		
月				素粒子物理学(前) M(R0106)	安田	11-102	粒子線物性(前) M(R0112)	門脇	8-304							前期	4月8日~7月22日
				流体力学(後) M(R0104)	栗田	11-301	①超伝導物理学特論(後a) M(R0145) D(R0146)	堀田	8-304							前期a	4月8日~6月3日
							①物理化学特別講義Ⅰ(物理実験学特論D)(後b) M(R0159) D(R0160)	*東	8-301							前期b	6月17日~7月29日
																後期	10月7日~1月27日
火				物理化学特別講義Ⅱ(原子物理学)(前) M(R0108)	田沼	11-202	①物理実験学特論A(前a) M(R0171) D(R0172)	青木	11-103	①超伝導理工学ゼミナール(前a) M(W0001)	菅野	8-301				前期	4月9日~7月16日
				①物理化学特別講義Ⅱ(化学特論Ⅶ分子の理論と計算)(前) M(R0167) D(R0168)	波田・中谷	8-302	①非線形物理学特論(前a) M(R0141) D(R0142)	首藤	8-300							前期a	4月9日~5月28日
				①物理化学特別講義Ⅰ(ナノ・表面物性特論Ⅱ)(前b) M(R0137) D(R0138)	柳	8-300	①統計力学特論(前b) M(R0117) D(R0118)	荒畑	8-302							前期b	6月11日~7月23日
				①高エネルギー理論物理学特論(後a) M(R0099) D(R0100)	ケトフ	8-301	①物理実験学特論B(後a) M(R0937) D(R0938)	門脇	11-102							後期	10月1日~1月21日
水				物理化学特別講義Ⅱ(化学特論Ⅵ凝縮系の物理化学)(前) M(R0165) D(R0166)	岩池・野村・見玉	11-103	①物理化学特別講義Ⅰ(物理物理学Ⅰ)(前) M(R0109)	荒畑	11-102	①原子物理学特論Ⅱ(後a) M(R0155) D(R0156)	田沼	8-301	計算物理学(後) M(R0114)	首藤	情報113	前期	4月10日~7月17日
				①物理化学特別講義Ⅱ(化学特論Ⅴ分子物性化学)(後) M(R0163) D(R0164)	城丸	11-101	①物理化学特別講義Ⅰ(物質科学ミニマム特論)(前a) M(R0110) D(R0113)	真庭	8-301	①電子物性特論Ⅱ(後a) M(R0135) D(R0136)	水口	8-304				前期a	4月10日~5月29日
							①科学英語特論(後a) M(R0139) D(R0140)	森	11-202							前期b	6月12日~7月24日
																後期	10月2日~1月22日
木				一般相対論(前) M(R0101)	ケトフ	11-201	原子核物理学(前) M(R0105)	兵藤	11-201							前期	4月11日~7月18日
				①物理化学特別講義Ⅰ(物質科学ミニマム特論)(前a) M(R0110) D(R0113)	真庭	8-301	①物理化学特別講義Ⅰ(ソフトマター物性特論Ⅱ)(前b) M(R0143) D(R0144)	栗田	8-301							前期a	4月11日~5月30日
				①科学英語特論(後a) M(R0139) D(R0140)	森	11-202	①原子核ハドロン物理学特論(後a) M(R0125) D(R0126)	兵藤	8-301							前期b	6月13日~7月25日
																後期	10月3日~1月16日
金				場の理論(前) M(R0103)	ケトフ	11-201	①宇宙物理学特論Ⅱ(前a) M(R0129) D(R0130)	大橋	8-301	統計物理学(前) M(R0102)	服部	11-301				前期	4月5日~7月19日
				宇宙物理学(後) M(R0107)	石崎	11-202	①高エネルギー宇宙物理学特論Ⅱ(前b) M(R0133) D(R0134)	政井	8-301	①磁性物理学特論(後a) M(R0123) D(R0124)	*上田	8-308				前期a	4月5日~5月24日
							①高エネルギー物理学特論Ⅱ(前b) M(R0121) D(R0122)	角野	8-306							前期b	6月7日~7月26日
																後期	10月4日~1月24日
土																前期試験期間	7月23日(火)~8月5日(月)
																前期a試験期間	5/31, 6/4~6, 6/10
その他																前期b試験期間	7月23日(火)~8月5日(月)
																後期	10月4日~1月10日(月)
集				①量子多体系特論(前) M(R0115) D(R0116)	服部		①物理学特論Ⅰ M(R0197) D(R0198)			①物理学特別講義Ⅰ M(R0005) D(R0006)			①超伝導理工学特別講義(前) M(W0004)		そ	①物理学外体験実習	
				①素粒子物理学特論(前) M(R0097) D(R0098)	安田		①物理学特別講義Ⅱ M(R0199) D(R0200)			①放射線実験法Ⅱ(前) M(R0077) D(R0008)			①超伝導理工学特別講義(後) M(W0005)		の	①物理学外体験実習	
							①物理化学特別講義Ⅰ M(R0197) D(R0198)								他		

注意: ①は1単位の科目

○印は博士後期課程の授業

◆印は分野横断プログラム「超伝導理工学プログラム」の分野横断専門科目である。分野横断プログラム修了単位に含まれるが、物理学専攻の修了単位には含まれない。

ティーチング・アシスタント(TA)制度

修士・博士課程院生が学部教育の補助業務を行い、これに対する手当を支給。
教育経験の提供と、経済支援。

- ◆ 期間
前期(4-9月)、後期(10-3月)
- ◆ 仕事内容
学生実験や計算機実習の指導補助、講義・演習の質問対応、
レポート採点、試験監督など
- ◆ 報酬
時給: 1200円(修士)、1300円(博士)、1600円(STA)
STA(博士後期課程のみ)は高度な業務を含む
1講義あたり45時間/期。実験(週2コマ)は60時間/期。
複数の講義を担当することもできるが、半期90時間が上限。
時間数は実働分(詳細は担当教員に確認)。
- ◆ 応募方法
毎年3月(前期分:済)と9月頃(後期分)にメールで募集。
10種類程度の業務の中から希望者が担当

主な研究支援制度

◆ 学術振興会、文科省

- 学術振興会特別研究員(博士課程、研究奨励金)
例年数名採用
- トビタテ！留学JAPAN 日本代表プログラム(海外派遣)

◆ 首都大(主なもの)

- 大学院研究奨励奨学金(博士課程、奨学金)
学振不採用者から選抜。月15万円の奨学金。
- 大学院研究支援奨学金(博士課程、奨学金)
全学の制度。選抜。学費の半分程度を支援。
- 理学研究科大学院生学術会議派遣(国際会議参加)
申請書を自ら書き研究をアピール。M1から応募可能。
- 大学院生国際学術会議派遣支援事業(博士課程、国際会議参加)
国際センターの制度。国際会議参加のための旅費を支援。
- 派遣留学生経済支援制度(海外派遣)
3ヶ月以上6ヶ月未満の期間、海外の研究機関で研究を行う。M1から応募可能。

日本学生支援機構・奨学金 返還免除制度

- 1.対象者:日本学生支援機構の第一種奨学金の貸与を受けた学生
- 2.種類:全額免除と半額免除の2種類

・博士前期課程(修士課程)と博士後期課程(博士課程)でそれぞれ別の枠が設定される。

・物理学専攻に枠が設定される:
修士課程の場合: 全額免除:1~2名程度※
半額免除:4~5名程度※

※枠は毎年変動する

- 3.免除者の決定時期: 修士課程および博士課程の修了時
- 4.免除者の決定方法(修士):

・主として、修士論文の内容、および発表会での発表・質疑応答の内容を審査する。
・学会発表、学術論文発表、ティーチング・アシスタントなどの実績が若干考慮される場合もある。

学生のための相談室

学業・研究や学生生活で相談したいことができれば。。。。

日頃の研究活動、勉学、日常生活、人間関係、研究指導の方法などで困ったり、悩んだりしている事がありましたら、遠慮なく相談して下さい。

特に学外から進学してきた学生は、些細なことでも構いませんので、相談して下さい。

第三者の目・意見は、解決のために、とても重要です。

もちろん、相談内容は相談室以外で知らされることはありません。

- ◆ 物理学専攻「院生・学生相談室」(2019年度担当:青木・角野)

counselor@phys.se....

- ◆ 理工学系人間関係相談チーム(2019年度物理担当:石崎)

ishisaki@phys.se....

理系事務室前の掲示板を参照(他専攻の委員・女性委員)

- ◆ 学生相談室(専門家による無料相談)

http://www.gs.tmu.ac.jp/gakuseika/08_soudan/02_sodan.html

- ◆ セクシャルハラスメント及びアカデミックハラスメント相談窓口

<http://www.houjin-tmu.ac.jp/harrassement/contact.html>

学生相談室のホームページより

http://www.gs.tmu.ac.jp/gakuseika/08_soudan/02_sodan.html

- ◆ 学生生活について
 - ・ 大学・大学院に馴染めない ・ 思うように勉強が進まない
 - ・ サークルやアルバイトでトラブルになった
- ◆ 進路・就職について
 - ・ 将来のことで悩んでいる ・ 就職活動がうまくいかない
- ◆ 対人関係について
 - ・ 友人関係や恋愛で悩みがある ・ 家族について話したいことがある
- ◆ 健康について
 - ・ 食事のこと(食べられない、食べ過ぎる)
 - ・ 睡眠のこと(眠れない、寝すぎる、悪夢を見る)
 - ・ 体と心に違和感がある (性別への違和等も含みます)
- ◆ 自分のことについて
 - ・ 自信が持てない ・ 自分の性格が気になる
 - ・ やる気が起きない ・ 気持ちに浮き沈みがある
 - ・ イライラすることが多い ・ コミュニケーションが難しい
 - ・ 注意力の問題を感じる ・ こだわりが強い
- ◆ その他
 - ・ 「発達障がい」等、「障がい」に関する相談もお受けしています。

学生生活上の配慮について、必要に応じて関連部署と連携して対応いたします。

相談の内容については、秘密を固く守り、プライバシーの保護をいたします。
安心してご利用ください。

学生教育研究災害傷害保険(学研災)

財団法人日本国際教育支援協会

- この保険は、教育研究活動中(正課・学校行事・課外活動及び通学中)の災害に対する補償制度で、急激かつ偶然な外来の事故による身体の傷害に対して保険金が支払われます。
- 南大沢キャンパスでは、加入手続きを学生サポートセンター学生課で随時受け付けています(任意加入)。
- (公財)日本国際教育支援協会のホームページ <http://www.jees.or.jp/gakkensai/index.htm> に、本保険に関する重要な事項が掲載されています。加入に際しては、必ず確認の上、手続きして下さい。

保険期間：保険料(基本＋特約)

1年：650＋350＋20円

2年：1,200＋550＋40円

3年：1,800＋800＋50円

必ず入ってください！

理論図書室の利用について

理論図書室：8号館5階520号室

物理学専攻の院生なら誰でも借りることができます。

- ・和書、洋書が多数所蔵されています。
- ・無人管理のため、皆さんの信頼に基づいて運営されています。
- ・必ず備え付けのPCにより貸し出し手続きをしてください。
- ・先輩たちが大事に使ってきた財産なので、後輩たちにも使ってもらえるように大事に使って下さい。
- ・図書資産の有効活用のため、期間内の返却をお願いします。
(卒業時の返却忘れに気をつけて下さい)

本日のこれからの予定

- 懇親会（15:30-16:30頃まで、8号館1階交流スペース）
 - 本ガイダンスの終了後、移動します。（隣の建物です）
 - 教員紹介や自己紹介も行います。
 - 全員参加です。

- 理論図書室の説明会
（17:00集合-17:15頃まで、8号館5階520号室）
 - 卒研時に説明を受けた学生は参加しなくても良い。
 - 都合により欠席する場合は、研究室の学生や指導教員に
図書の貸出・返却方法を聞いておいて下さい。